

協同組合山梨県ジュエリー協会

ジュエリー産地からニュースです。

第37回 甲府ジュエリーフェア開催！

ACTIVE KUMIAI

4月3日、4日の2日間、協同組合山梨県ジュエリー協会井上善展理事長(は甲府市大津町のアイメッセ山梨にて)第37回甲府ジュエリーフェア』を開催した。これは、歴史と伝統を誇る山梨県の宝飾産業を代表し、産地山梨から発信するジュエリービジネスのトレードフェアである。このフェアには県内のジュエリー業者など93社が参加し、春夏物の新作や流行の商品が紹介され、商品総額は約2,000億円に上った。

そんな中、今回最も注目を集めたものは、山梨の産地ブランド『Koo - fu(クーファー)』の初めてのコレクション商品である。『Koo - fu』とは、ジュエリーの街「山梨」から発信する産地ブランドである。そして、産地の特性を活かした質の高い素材、技術、デザインで製品作りを行い、ものづくりの姿勢や意識全体を価値として提供するジュエリー生産地のブランドでもある。一昨年頃から、ジュエリーの市場は大きく変化し、海外からのジュエリー輸入量に関して、製品が素材を超えるという現象が起こっているが、この現象と共に海外からの粗悪な製品が国内に流通し始めている問題も出始めている。その様な中で、山梨の産地ブランド『Koo - fu』

は、今後も注目を集めていきそうである。



『Koo - fu』コレクションに見入る来場者

また5日には同会場にて、信玄公まつり輝きの祭典大宝飾展』が開催され、ジュエリーアーティストの梶光夫氏がフランスの世界遺産をモチーフにデザインした宝飾オブジェ、モン・サン・ミシエル』が披露された。40カラットの特大ダイヤモンドを使ったこのオブジェは、金額にして6億3千万円相当。訪れた人々は、その輝きに魅了されていた。



御夫人方によるテープカット